

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で210cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で3,200cells/ml確認されました。また、各所でケイ藻類の増加が確認されました。カレニア及びヘテロシグマの細胞数は前回調査時よりも減少していますが、環境条件等により再び増殖・拡大する可能性もありますので、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	2m	0	200	0	4,200
	B-1	0	0	0	0
中学校前	0m	0	0	0	5,500
	2m	0	0	1	10,800
	5m	21	0	0	4,800
目ノクソ	2m	13	25	0	9,900
	5m	120	100	0	2,700
光松	0m	13	100	0	7,200
	2m	18	2,500	0	7,500
	5m	240	500	0	2,700
	10m	0	0	0	0
大鹿	2m	20	2,400	0	8,200
水試小割前	2m	40	3,200	0	2,700
	B-1	140	200	0	1,400

漁業被害が想定される細胞密度
 ・カレニア・ミキモトイ：
 数百～数千cells/ml(魚類のへい死)
 ・ヘテロシグマ・アカシオ：
 50,000～cells/ml(魚類等のへい死)

